

国際交流学科 4年

留学先：韓国

梨花女子大学

留学期間：2022年2月～2022年2月

学習面においては、日本にいた時と同じように手を抜かず取り組むことを心がけた。特に、予習は重点的に行った。やはり外国語で授業を受けるとなると、現地の学生にとっては当たり前知っている言葉でも、留学生にとっては難しいものもあるため、語彙によって韓国の学生と差がついてしまわないように、予めできる範囲で韓国の学生に近いレベルの事前知識で授業に臨めるように努力した。そのおかげで授業自体は大きな困難なく受講することができ、また自身の韓国語能力に対する自信にも繋がった。

学習以外の面では、大きな成長や変化があるかないかに関わらず、「ひとまず行動してみる」ことを意識していた。「本来の自分ならこうはできない（諦めてしまう、断ってしまうなど）」ということを考えて、躊躇せず店員さんに話しかけるようにしたり、集まりに誘われたら参加してみる、といったように「ここでこうしてみよう！」と意識的に内気な性格を直すことを心がけた。結果として、日常生活の中で自身が日本人（外国人）であることを予め知らない人とも物怖じせず話せるようになり、韓国以外の国からの友達と付き合うこともできた。このような経験から、些細な心掛けからでも得られるものがあることに気が付いた。また、韓国人と日常会話を交わす際には、より自然な表現を身につけるために、どんな言い回しをするのかを学ぶようにしていた。韓国で生活していると、新しいことを学ぶ機会があちこちに転がっており、学んだことをすぐに実践できる環境にあるので、日本で過ごす10か月と韓国で過ごす10か月では、語彙力のつき方や表現の幅の広がり方がだいぶ違うと感じた。